

■ 本文

【白文】

昔者、莊周夢ニ為レルレ胡蝶ト。栩栩然トシテ胡蝶ナリ也。自ラ喩シミテ適レフ志ニ与。不レルレ知レ周ナルヲ也。俄然トシテ覚ムレバ、則チ蘧蘧然トシテ周ナリ也。不レルレ知、周之夢ニ為レルカ胡蝶ト与、胡蝶之夢ニ為レルカ周ト与。周与ル胡蝶ト、則チ必ず有レリレ分矣。此レヲ之謂ニフ物化一ト。

※白文（参考）：昔者、莊周夢為胡蝶。栩栩然胡蝶也。自喩適志与。不知周也。俄然覚、則蘧蘧然周也。不知、周之夢為胡蝶与、胡蝶之夢為周与。周与胡蝶、則必有分矣。此之謂物化。

【書き下し文】

昔者（むかし）、莊周（そうしゅう）夢に胡蝶（こちょう）と為る。栩栩然（くくぜん）として胡蝶なり。自ら喩（たの）しみて志に適（かな）へるかな。周なるを知らざるなり。俄然（がぜん）として覚（さ）むれば、則（すなは）ち蘧蘧然（きよきよぜん）として周なり。知らず、周の夢に胡蝶と為れるか、胡蝶の夢に周と為れるかを。周と胡蝶とは、則ち必ず分（ぶん）有り。此（これ）を之（これ）物化（ぶつか）と謂（い）ふ。

【語注】

- ・昔者（むかし）…「者」は語調を整える助字で読まない。
- ・莊周…莊子の本名。
- ・栩栩然（くくぜん）…のびのびと楽しげなさま。蝶がひらひらと舞う心地よい様子。
- ・自喩（みづから たのしむ）…自分で楽しむ。「喩」はここでは「愉（たの）しむ」に通じる。
- ・適志（こころざしにかなふ）…思いのままに満足すること。
- ・俄然（がぜん）…にわかに。突然。
- ・蘧蘧然（きよきよぜん）…はっと目覚めたさま。まぎれもなく自分であるさま。
- ・分（ぶん）…区別。へだて。
- ・物化（ぶつか）…万物が形を変えて移りゆくこと。あるものが別のものへと化していく変化。

■ 設問（全21問）

1. 傍線部「昔者」の読みを、現代仮名遣いのひらがなで答えよ。また、「者」がここで果たしている文法上の働きを簡潔に説明せよ。
2. 「栩栩然」の読み（ひらがな）と意味を答えよ。
3. 「俄然」の読み（ひらがな）と意味を答えよ。
4. 「蘧蘧然」の読み（ひらがな）と意味を答えよ。
5. 「物化」とはどのような意味か。本文の内容にそくして説明せよ。
6. 「莊周夢為胡蝶」を書き下し文に改めよ。

7. 「自喻適志与」の「喻」は、ここではどのような意味で用いられているか。最も適切なものを次から一つ選べ。

- ア たとえる
- イ さとす・教える
- ウ たのしむ
- エ うったえる

8. 「不知周也」を現代語訳せよ。

9. 「俄然覚、則遽遽然周也」を現代語訳せよ。

10. 「不知、周之夢為胡蝶与、胡蝶之夢為周与」を現代語訳せよ。

11. 夢から覚めた莊周が「周之夢為胡蝶与、胡蝶之夢為周与（自分が蝶になった夢を見たのか、蝶が自分になった夢を見ているのか）」と迷っているのはなぜか。莊子の考え方をふまえて説明せよ。

12. 傍線部「胡蝶之夢為周与」の「之」と同じ働き・意味の「之」を含むものを、次から一つ選べ。

- ア 此之謂物化
- イ 周之夢為胡蝶
- ウ 之を行ふ
- エ 牛を見て之を憐れむ

13. 本文に「周与胡蝶、則必有分矣」とある。「区別はある（分有り）」と述べながら、なお両者の境を「物化」と呼んで一つに結ぶ莊子の考え方を、四十字程度で説明せよ。

14. 「此之謂物化」を書き下し文に改めよ。なお「之」の働きに注意すること。

15. 「胡蝶の夢」という故事成語は、現在ではどのような意味で使われるか。次から最も適切なものを一つ選べ。

- ア 努力が報われず、はかなく終わること
- イ 人の世のはかなさ、また夢と現実の区別がつかないことのとえ
- ウ 思いがけない幸運がめぐってくること
- エ 立場が逆転して、敵と味方が入れかわること

16. 文末に二度くり返される「与」は、ここではどのような働きの助字か。次から最も適切なものを一つ選べ。また、その読みも答えよ。

- ア 「と」と読み、並列を表す
- イ 「か」と読み、疑問・詠嘆を表す
- ウ 「より」と読み、比較を表す
- エ 「ともに」と読み、動作の相手を表す

17. この説話で説かれる「夢と現実（うつつ）の区別がつかない」という境地は、老莊思想のどのような考え方とつながるか。次の語句を**すべて**用いて説明せよ。

用いる語句：万物斉同／差別（区別）／対立

18. 老莊思想の中心概念である「無為自然」とはどのような生き方・考え方か。簡潔に説明せよ。

19. 次の老子の言葉について、後の小問に答えよ。

「上善は水のごとし。水は善く万物を利して争はず。」（上善若水）

(1) 「上善若水」を書き下し文に改めよ。

(2) 老子が、理想の生き方を「水」にたとえたのはなぜか。「争はず」の語をふまえて説明せよ。

20. 次の老子の言葉について、後の小問に答えよ。

「足るを知る者は富む。」(知足者富)

(1) 「知足者富」を書き下し文に改めよ。

(2) この言葉が説いている内容を、現代語でわかりやすく説明せよ。

21. 『莊子』の作者とされる人物名を漢字で答えよ。また、彼が老子とともに大成した思想は何と呼ばれるか、漢字で答えよ。